

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月11日

【四半期会計期間】 第59期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 ノーリツ鋼機株式会社

【英訳名】 Noritsu Koki Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 西本博嗣

【本店の所在の場所】 和歌山市梅原579番地の1

【電話番号】 (073)406 - 5678(代表)

【事務連絡者氏名】 IR・PR・ER室長 谷口博則

【最寄りの連絡場所】 和歌山市梅原579番地の1

【電話番号】 (073)406 - 5678(代表)

【事務連絡者氏名】 IR・PR・ER室長 谷口博則

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第58期 第2四半期 連結累計期間	第59期 第2四半期 連結累計期間	第58期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	9,461	26,003	27,379
経常利益又は経常損失()	(百万円)	285	978	952
四半期(当期)純利益	(百万円)	76	389	417
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	275	1,561	1,376
純資産額	(百万円)	55,341	59,740	56,896
総資産額	(百万円)	73,644	90,744	80,849
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	2.14	10.93	11.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	75.1	64.2	70.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	937	1,175	2,553
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	6,791	988	3,421
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,367	3,974	4,263
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	15,842	28,179	23,576

回次		第58期 第2四半期 連結会計期間	第59期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失 金額()	(円)	11.09	6.90

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第58期第2四半期連結累計期間潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
第58期及び第59期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

（医療）

株式取得による子会社化に伴い、株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社、株式会社アイメディックを第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（シニア・ライフ）

株式取得による子会社化に伴い、株式会社秋田ケーブルテレビを第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績結果においては、前連結会計年度よりいきいき株式会社及び株式会社全国通販によるシニア向けの出版・通信販売等の事業が加わったこと、並びに第1四半期連結会計期間より株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社及び株式会社アイメディックにおける医療事業が加わったことが寄与し、売上高は260億3百万円（前年同期比174.8%増）となりました。

また、利益面につきましては、主として上述のシニア・ライフ事業、医療事業がグループ全体を牽引し、営業利益は10億67百万円（前年同期は営業損失1億29百万円）となりました。

経常利益につきましては、前年同期と比べ為替差損が減少したことなどにより、9億78百万円（前年同期は経常損失2億85百万円）となりました。

また、特別損益項目においては、海外における構造改革費用などを損失計上しましたが、前年同期と比べ増益となり四半期純利益は3億89百万円（前年同期比410.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各セグメント別の売上高は外部顧客への売上高を記載しており、またセグメント損益（営業損益）は各セグメント間取引の調整額を加算したものであります。

イメージング

写真処理機器においては、北米でのサービスの販売拡大、為替環境の好転により、売上高は73億32百万円と前年同期と比べ9億99百万円（15.8%増）の増収となりました。

セグメント利益（営業利益）は、為替による増収効果もあり1億66百万円（前年同期は営業損失91百万円）と前年同期と比べ2億58百万円の増益となりました。

環境

環境ソリューションブランド「Re:ray（リレー）」を新機軸にLEDライティングなどの販売活動に注力しましたが、全体の販売数量は前年同期を下回り売上高は8億90百万円と前年同期と比べ4億20百万円（32.1%減）の減収となりました。

セグメント損失（営業損失）は、前年同期と比べ収益構造を改善し、36百万円（前年同期は営業損失83百万円）となりました。

食

昨年末より販売を開始した水循環式電気フライヤー等の販売が好調に推移した結果、売上高は2億50百万円と前年同期と比べ2億19百万円（706.9%増）の増収となりました。

しかしながら、セグメント損失（営業損失）は、販売体制強化のための人員の補強などにより販管費が増加し31百万円（前年同期は営業損失12百万円）と前年同期と比べ19百万円の減益となりました。

医療

平成25年5月にレセプトデータの分析・調査データの提供を手掛ける株式会社日本医療データセンター、歯科及びその他医療機関に対する歯科材料・医療材料の通信販売を行うフィード株式会社、整形外科領域におけるインプラント器具の製造・販売を行う株式会社アイメディックなどが当社グループに加わったことにより事業領域が拡大しました。その結果、売上高は53億99百万円と前年同期と比べ45億31百万円（522.0%増）の増収となりました。

上述の事業領域の拡大に伴い、セグメント利益（営業利益）は3億5百万円（前年同期は営業損失23百万円）と前年同期と比べ3億29百万円の増益となりました。

シニア・ライフ

平成24年9月にM&Aによるシニア向け出版・通信販売等を手掛けるいきいき株式会社、また平成24年12月に株式会社全国通販が当社グループに加わったことにより、事業領域が拡大しました。その結果、売上高は118億78百万円と前年同期と比べ111億71百万円（1580.8%増）の増収となりました。

上述の事業領域の拡大に伴い、セグメント利益（営業利益）は4億71百万円（前年同期は営業損失5百万円）と前年同期と比べ4億77百万円の増益となりました。

その他

その他の事業におきましては、売上高が2億51百万円、セグメント利益（営業利益）が1億90百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は907億44百万円となり、主に子会社取得により前連結会計年度末と比較して98億95百万円増加しました。

流動資産は、48億23百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が48億72百万円、受取手形及び売掛金が10億50百万円、商品及び製品が13億37百万円増加し、償還等により有価証券が26億57百万円減少したことによるものです。

固定資産は、50億72百万円の増加となりました。これは有形固定資産が19億76百万円、のれんの計上額が15億88百万円増加したことによるものです。

負債は、70億50百万円の増加となりました。これは長期借入金31億10百万円、短期借入金15億円、支払手形及び買掛金が4億87百万円増加したことによるものです。

純資産は、28億44百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益3億89百万円の計上と配当実施の結果、利益剰余金が2億46百万円増加したこと、為替換算調整勘定が10億7百万円増加したこと及び少数株主持分が14億95百万円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ46億2百万円増加し281億79百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは11億75百万円の資金の増加(前年同期は、9億37百万円の資金の増加)となりました。資金の増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益9億98百万円、減価償却費8億31百万円、売上債権の減少による増加7億70百万円、のれん償却額4億10百万円となっております。資金の減少の主な要因は、法人税等の支払額7億7百万円、負ののれん発生益の計上6億93百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9億88百万円の資金の減少(前年同期は、67億91百万円の資金の減少)となりました。資金の減少の主な要因は、子会社株式の取得による支出21億48百万円、貸付けによる支出6億42百万円、投資有価証券の取得による支出2億50百万円、有形固定資産の取得による支出2億32百万円となっております。資金の増加の主な要因は、有価証券の償還による収入25億87百万円となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは39億74百万円の資金の増加(前年同期は、23億67百万円の資金の増加)となりました。資金の増加の主な要因は、主に子会社株式の取得に伴う資金調達の結果、短期借入れによる収入が70億円、長期借入れによる収入が40億円となっております。資金の減少の主な要因は、主にブリッジローン実施に伴う短期借入金の返済による支出が59億45百万円、長期借入金の返済による支出が7億59百万円、配当金の支払による支出が2億円となっております。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

(5) 研究開発活動

当社グループの当第2四半期連結累計期間の研究開発費に係る総額は3億95百万円(当第2四半期連結累計期間の総製造費用に計上した試験研究費72百万円を含む)となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動について重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、医療事業における従業員数が199名増加しております。その主な理由は、株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社、株式会社アイメディックを連結子会社化したことによるものです。

なお、従業員数は就業人員(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。)であり、臨時雇用者(パートタイム労働者及び派遣社員)は含んでおりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	64,000,000
計	64,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	36,190,872	36,190,872	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 単元株式数は100株
計	36,190,872	36,190,872		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日 ～平成25年9月30日		36,190,872		7,025		17,913

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社サンプランニング	和歌山県和歌山市西高松 1 丁目 3 1	15,019	41.50
西 本 佳 代	東京都港区	2,401	6.64
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ セキュリティ レンディング 常任代理人 香港上海銀行東京支店	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋 3 丁目 11 1)	1,003	2.77
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海 1 丁目 8 11	826	2.28
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(退職給付信託紀陽銀行口)	東京都港区浜松町 2 丁目 11 3	755	2.09
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 1	676	1.87
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町 2 丁目 11 3	674	1.86
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内 1 丁目 1 2	540	1.49
C B N Y D F A I N T L S M A L L C A P V A L U E P O R T F O L I O 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	388 GREENWICH STREET, NY, NY 10013, USA (東京都品川区東品川 2 丁目 3 14)	518	1.43
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目 2 10	361	1.00
計		22,777	62.94

- (注) 1 当社は自己株式576千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
- 2 ブランデス・インベストメント・パートナーズ・エル・ピーから平成23年5月10日付で提出された大量保有報告書により、同年4月26日現在で以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
ブランデス・インベストメント・パートナーズ・エル・ピー	アメリカ合衆国、カリフォルニア州 92191、サンディエゴ、エル・カミノ・レアル11988、500号室	1,882	5.20

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 576,800		権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式
完全議決権株式(その他)	普通株式 35,610,500	356,105	同上
単元未満株式	普通株式 3,572		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	36,190,872		
総株主の議決権		356,105	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が400株(議決権4個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式47株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) ノーリツ鋼機株式会社	和歌山市梅原 579番地の1	576,800		576,800	1.59
計		576,800		576,800	1.59

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,575	23,448
受取手形及び売掛金	² 4,942	5,993
有価証券	8,190	5,532
商品及び製品	6,521	7,858
仕掛品	304	260
原材料及び貯蔵品	193	203
繰延税金資産	538	738
その他	4,177	4,436
貸倒引当金	1,631	1,836
流動資産合計	41,811	46,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,004	32,742
機械装置及び運搬具	7,352	9,657
土地	12,168	12,206
建設仮勘定	12	5
その他	13,275	13,675
減価償却累計額	41,660	46,157
有形固定資産合計	20,152	22,129
無形固定資産		
のれん	12,433	14,022
その他	526	926
無形固定資産合計	12,960	14,948
投資その他の資産		
投資有価証券	3,110	3,101
長期貸付金	528	1,640
繰延税金資産	613	706
その他	2,269	2,932
貸倒引当金	596	1,349
投資その他の資産合計	5,924	7,031
固定資産合計	39,037	44,109
資産合計	80,849	90,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,149	3,637
短期借入金	500	2,000
1年内返済予定の長期借入金	1,006	1,564
未払法人税等	393	472
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	303	417
債務保証損失引当金	41	43
製品保証引当金	247	361
ポイント引当金	252	242
その他	4,357	4,843
流動負債合計	10,253	13,583
固定負債		
長期借入金	12,933	16,043
繰延税金負債	166	230
退職給付引当金	32	113
その他	567	1,033
固定負債合計	13,700	17,420
負債合計	23,953	31,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,025	7,025
資本剰余金	17,913	17,913
利益剰余金	37,499	37,745
自己株式	1,211	1,211
株主資本合計	61,226	61,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	83
為替換算調整勘定	4,339	3,332
その他の包括利益累計額合計	4,342	3,248
新株予約権	10	19
少数株主持分	1	1,496
純資産合計	56,896	59,740
負債純資産合計	80,849	90,744

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,461	26,003
売上原価	4,848	12,395
売上総利益	4,613	13,607
販売費及び一般管理費	4,742	12,540
営業利益又は営業損失()	129	1,067
営業外収益		
受取利息	179	165
受取配当金	24	21
持分法による投資利益	-	10
その他	65	118
営業外収益合計	268	316
営業外費用		
支払利息	49	139
為替差損	183	84
持分法による投資損失	150	-
付加価値税還付不能額	-	83
その他	41	97
営業外費用合計	424	404
経常利益又は経常損失()	285	978
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	71	-
負ののれん発生益	-	693
特別利益合計	73	697
特別損失		
固定資産除売却損	3	26
貸倒引当金繰入額	-	283
投資有価証券売却損	-	46
投資有価証券評価損	20	0
製品保証費用	-	110
構造改革費用	-	211
特別損失合計	23	678
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	235	998
法人税等	311	530
少数株主損益調整前四半期純利益	76	468
少数株主利益又は少数株主損失()	0	79
四半期純利益	76	389

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76	468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	311	85
為替換算調整勘定	28	1,001
持分法適用会社に対する持分相当額	11	5
その他の包括利益合計	351	1,093
四半期包括利益	275	1,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275	1,482
少数株主に係る四半期包括利益	0	79

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	235	998
減価償却費	391	831
のれん償却額	137	410
負ののれん発生益	-	693
貸倒引当金の増減額(は減少)	34	220
賞与引当金の増減額(は減少)	34	12
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	16	1
製品保証引当金の増減額(は減少)	30	109
退職給付引当金の増減額(は減少)	38	16
受取利息及び受取配当金	203	187
支払利息	49	139
為替差損益(は益)	95	74
投資有価証券評価損益(は益)	20	0
持分法による投資損益(は益)	153	10
有形固定資産除売却損益(は益)	0	22
投資有価証券売却損益(は益)	-	46
売上債権の増減額(は増加)	237	770
たな卸資産の増減額(は増加)	371	99
仕入債務の増減額(は減少)	970	11
構造改革に伴う未払金の増減額(は減少)	14	33
前受収益の増減額(は減少)	50	25
その他	1,438	746
小計	891	1,876
利息及び配当金の受取額	216	158
利息の支払額	40	151
法人税等の支払額	130	707
営業活動によるキャッシュ・フロー	937	1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	2,655	-
有価証券の売却による収入	1,161	-
有価証券の償還による収入	2,062	2,587
有形固定資産の取得による支出	203	232
有形固定資産の売却による収入	154	9
投資有価証券の取得による支出	399	250
投資有価証券の売却による収入	77	177
投資有価証券の償還による収入	32	0
貸付けによる支出	197	642
貸付金の回収による収入	408	37
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	7,235	2,148
その他	1	526
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,791	988

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,000	7,000
短期借入金の返済による支出	2,411	5,945
長期借入れによる収入	-	4,000
長期借入金の返済による支出	83	759
ファイナンス・リース債務の返済による支出	31	129
配当金の支払額	106	200
新株予約権の発行による収入	-	9
自己株式の取得による支出	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,367	3,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	442
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,577	4,602
現金及び現金同等物の期首残高	19,420	23,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,842	28,179

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)	
連結の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間より、株式取得による子会社化に伴い(株)日本医療データセンター、フィード(株)、(株)アイメディック及び(株)秋田ケーブルテレビを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

(1) リース利用により当社製品を購入した顧客のリース契約に関する債務保証残高は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
JA三井リース(株)	172百万円	JA三井リース(株)	160百万円
三井住友ファイナンス& リース(株)	87	三井住友ファイナンス& リース(株)	67
akf bank GmbH & Co.	63	akf bank GmbH & Co.	38
akf leasing GmbH & Co.	24	Safra Leasing S.A. Arrendamento Mercantil	23
Safra Leasing S.A. Arrendamento Mercantil	22	Unibanco Leasing Arrendamento Mercantil S/A	23
その他(11社)	63	その他(8社)	31
合計	433	合計	345

(2) 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
韓国C I T I銀行	64百万円	韓国C I T I銀行	43百万円
東亜銀行	5	東亜銀行	1
合計	70	合計	44

2 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	32百万円	百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
荷造運送費	238百万円	1,491百万円
広告宣伝費	237	2,089
製品保証引当金繰入額	9	104
給料・賞与	1,429	3,330
賞与引当金繰入額	220	291
退職給付費用	45	53
福利厚生費	355	645
通信・旅費交通費	303	626
研究開発費	504	323
減価償却費	222	314
賃借料	145	467

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	14,762百万円	23,448百万円
現金及び預金勘定に含まれてい る定期預金		500
有価証券勘定に含まれている国内 CD	1,080	4,660
有価証券勘定に含まれているMR F		570
現金及び現金同等物	15,842	28,179

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	106	3	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月2日 取締役会	普通株式	106	3	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	142	4	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月6日 取締役会	普通株式	142	4	平成25年9月30日	平成25年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメ ジ ン グ	環 境	食	医 療	シ ニ ア ・ ラ イ フ	そ の 他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	6,333	1,311	30	868	706	211	9,461		9,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0					0	0	0	
計	6,333	1,311	30	868	706	211	9,461	0	9,461
セグメント利益又は損失()	91	83	12	23	5	85	131	1	129

- (注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額1百万円には、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。
2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は1,630百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	イメ ジ ン グ	環 境	食	医 療	シ ニ ア ・ ラ イ フ	そ の 他	計
全社費用配賦前の セグメント利益又は損失()	1,208	41	12	40	28	166	1,498
全社費用	1,300	125	25	63	34	81	1,630
セグメント利益又は損失()	91	83	12	23	5	85	131

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメ ジ ン グ	環 境	食	医 療	シ ニ ア ・ ラ イ フ	そ の 他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,332	890	250	5,399	11,878	251	26,003		26,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高									
計	7,332	890	250	5,399	11,878	251	26,003		26,003
セグメント利益又は損失()	166	36	31	305	471	190	1,065	1	1,067

- (注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額1百万円には、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。

- 2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は1,599百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	イメージ ジニング	環境	食	医療	シニア ・ライフ	その他	計
全社費用配賦前の セグメント利益又は損失()	1,238	18	40	419	735	212	2,664
全社費用	1,071	55	72	113	264	22	1,599
セグメント利益又は損失()	166	36	31	305	471	190	1,065

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社、株式会社アイメディック及び株式会社秋田ケーブルテレビの株式を取得し、連結の範囲に含めております。

これに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「医療」のセグメント資産が71億20百万円、「シニア・ライフ」のセグメント資産が38億28百万円増加しております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

いきいき株式会社等が連結子会社となったことに伴い、前第3四半期連結会計期間より事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の所在地別から「イメージ」「環境」「食」「医療」「シニア・ライフ」「その他」の業種別に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医療」セグメントにおいて、株式会社日本医療データセンターの株式取得時における時価純資産額が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては19億99百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「医療」「シニア・ライフ」セグメントにおいて、フィード株式会社、株式会社アイメディック及び株式会社秋田ケーブルテレビの株式取得時における時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては6億93百万円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円14銭	10円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	76	389
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	76	389
普通株式の期中平均株式数(株)	35,614,086	35,614,025
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【その他】

第59期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当について、平成25年11月6日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	142百万円
1株当たりの金額	4円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

ノーリツ鋼機株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 善 場 秀 明 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高 濱 滋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているノーリツ鋼機株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ノーリツ鋼機株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。